

第14期 第11回白石区地域部会・運営部会

日時：2024年2月14日（水）10:30～12:00

場所：白石区役所 2F窓側会議室

○出席

常盤野会長・ここプロ服部氏・主査佐藤氏・相談室きよサポ岡崎氏・ワンオール林氏・夢民越後氏・戸田氏・ビビット南郷田中氏・相談室あゆみ岸井氏・ピアデザイン稲垣氏・事務局西町

○欠席

斎藤副会長・ラダーサポート宮西氏

1. 報告・連絡事項

*部会長から

【1月末 運営全体会議に田中氏（ビビット南郷）が参加】

- ・中央区のヘルパー不足、その問題への取り組み、強度行動障がい支援の課題など進捗を確認。
- ・子ども部会 勉強会の開催報告
- ・就労部会 就労は企業向けセミナーを開催。参加企業が三社のみ。参加数は課題が残る。ナカポツの利用方法が分からないという声もあった。B型を検討している方をナカポツに繋げて良いのか、という意見も。適切な利用に繋がるよう意識していくことの重要性を確認。
- ・相談部会 令和6年度の活動をどうするか、2月の定例会に向けて話し合っていくことを確認。重度の強度行動障害は、一定の形ができ、情報共有シートの活用をどうしていくのか。札幌市は特定のところのみ情報を流すのは難しい。
- ・基幹相談支援センターワン・オール 他市からのケースが増えてきている、研修関係、報酬改定を控えた情報共有。ヘルパー不足は、アンケートの数をまだ集めたい。現状100件中42件程の回答状況。3月の運営会議に向けデータを収集中。会計については、部会で口座を作ることは問題ないが、市は責任を負えないため、体制管理を考慮・工夫しなければならない。（年1回会計報告を行う）札幌市より予算がつかない現状のため。
- ・レベル1・レベル2研修 平成30年までプロジェクトチームが活動。それがなくなり、専門連絡会が引き継いで実施を行う予定であったが、コロナになり頓挫、発展的解消となっている。
- ・相談部会は、各地域の質の向上が重要だと思うが、そこに手をつけるのが難しいのならば、参加している地域部会が参画していくことが望ましいのでは。
- ・各部会の規約について、次回の地域部会連絡会、各区との擦り合わせ、精査を行う予定。

*子ども部会より

特になし

*就労部会より

3月1日(金)「集まる場」を開催予定。前回よりも開始時間を早め、17:00-19:00で開催予定。参加状況はホワイトストーンが取りまとめを担当。

*初任者基礎研修会より

2月13日打合せ開催。参加者のアンケート確認、次年度のテーマについて話し合う。50人へのアンケートでは、回答は7件、評価自体は良好な内容。研修後の期間が空いてしまったことや、事業所宛にメール案内をしているため、集まりが少なかったのかもしれない。アンケートの自由記載欄には、面接の技法について、利用者との関わりについて悩む声があり、研修で取り扱っていきたいと考える。基礎研修チームへの参加が2名あり。運営になる場合は、構成員になる必要があるため、そこも含めた打診をしていきたい。次年度の研修テーマは年間5回行いたいと考えており、バイスティックの7原則、制度関連、面接技法。シンポジウム形式も良い。参加した実習生からは、ロールプレイなどをやってみたい、という声も挙がる。

→運営部会のバックアップも可能。

2. 協議事項

*今年度 各事業部会との交流会日程等

3月22日(金) 18:30 20名程度 基礎・事例・児童・就労 運営で6人 15~
予算:3500-4000円の間

3月8日まで

取りまとめ 西町

*次年度の活動を考えるための今年度の振り返り

2, 3月で次年度の事業計画を立てたい。

・基礎研修チーム(年間5回)

面談、バイスティックの7原則、制度

・就労部会

集まる場、交流、ケース検討

・子ども部会

研修中心

他区合同研修

・運営

○事例検討

○包括との合同ケース会議

○新制度・改定について

- グループホーム説明（訪看セット住居・不動産屋の障がいのある方への住居探し）精神障がい者にも包括支援を（にも包括ってなに？）
- 親亡き後の生活
- サビ管対象の研修
- 経営運営対象
- 支援員向けの具体的な支援方法
- 白石区の傾向（生活保護者数、障がい者数、世帯数）
- 課題（支援員に情報が届かない、白石区の実態がわかるように、交流の場がない）

ターゲットは誰か

目的は何か（交流、学び、課題共有）

白石の全体を捉えた上で考える

*次年度の体制について

運営委員に推薦したい方など

3. その他

(1) 告知・PR

(2) 次月予定 2024年3月13（水）10:30～12:00 場所 二階窓側

次回司会 _____